



早いもので、今年も1ヵ月が終わりました。暖冬で春の桜も早めかな!?

このニュースレターは、電子入札用ICカード購入をして頂いたお客様、当社とお取引のあるお客様、私と名刺交換して頂いた方へお送りしています。

IT関連の情報やニュース、気になる製品等をお伝えいたします。お気軽にお読みください。
宜しければ社内回覧などして頂くと励みになり、嬉しくなります。

2020年に「5G」のサービスがはじまると、私たちの暮らしはどう変わる?

2020年の春頃にサービスがスタートすると言われている、次世代ネットワーク「5G」。このサービスがはじまることで、実際に私たちの暮らしにどのような影響があるのでしょうか。

2020年に登場するのが、第5世代移動通信システムと言われる「5G」。その大きな特徴は、「超高速」「大容量」「大量接続」「低遅延」であり、データのダウンロードや動画視聴、コンテンツの配信をより速くスムーズに行なうことができます。これは、現在私たちが使用している「4G LTE」と比べると、100倍近くのスピードになるとか!

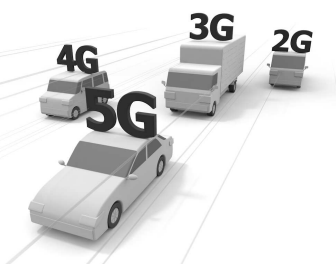


また、データの通信がスピーディーに行われるだけでなく、大容量通信や大量たとえば街中のセンサーやスマートフォンなどのデバイスによって情報が集められ、それが分析されて、手元のスマートフォンでよりリアルタイムでバスや電車の位置情報や混雑状況、また気象情報などを確認することができるように。つまり、都市や街全体がデジタルで管理できるようになることが期待されるのです。

日常生活やビジネスシーンなどで、より便利な暮らしや働き方が実現!

私たちの暮らしにより直結しているのが、「5G」で家電がどう変わるかですよね。これまでのようにデジタル家電だけでなく、白物家電にも情報通信機能が搭載され始めていると言います。そしてIoT家電として、ホームネットワークやインターネットとつながっていき、遠隔操作や使用状況の確認がいつでもどこでもできるように。

現在でも、お掃除ロボットをスマホで操作したり、スマートスピーカーでテレビや照明などを操作することができます。しかし、「5G」が普及してIoTが進むことで、たとえば冷蔵庫から食材を自動的に注文できたり、クラウド上のスケジュールと連動させて冷暖房のオンオフができたりと、より便利な暮らしが実現できるかもしれません。



また、クルマの技術改革でも大きな変化が。ドライバーの眠気をカメラやウェアラブル端末が感知してくれたり、車載カメラやセンサー、歩行者のスマートフォンなどから集められた膨大なデータに基づいて、危険を回避した完全自動運転が実現できるそうです。

「5G」のネットワーク通信を利用するには、「5G」に対応したスマートフォンを購入する必要があります。先日のニュースでは、Appleが5G対応のiPhoneを2020年に発売するかも!という記事が出ました。また、NTTドコモは、「5G」のサービスに注力するため、「FOMA」と「iモード」のサービスを2026年に終了させることを発表しました。5Gのサービスが開始されても全国への普及まで数年はかかるでしょう。

※IoTは「Internet of Things」の略称で、日本語では「モノのインターネット」と訳されます。

～ Wi-Fi 6 (無線機器) ～

Wi-Fi とは無線通信規格の一つです。

Wi-Fi 6 とは、新しい Wi-Fi の通信規格です。2019 年より Wi-Fi 6 対応の製品販売が開始されました。

Wi-Fi 6 は、今後の Wi-Fi 通信機器で主流となることが確実な無線 LAN 規格です。



Wi-Fi 6 の特徴

・通信速度、データ転送量がともに向上

Wi-Fi 6 では 2.4GHz と 5GHz の両方使うことができます。これはスループット（理論上の単位時間あたりのデータ転送量）の向上に貢献することになります。ちなみに、周波数が長い 2.4GHz は壁などの障害物に強いとされ、一方の 5GHz は通信速度が速いとされています。

・混み合った環境でも安定接続

複数の機器が同時に Wi-Fi に接続している状態でも、通信がスムーズかつ高速に行えることを目標に開発されています。

・接続する端末のバッテリー消費を節約できる

Wi-Fi 6 では、「Target Wake Time (TWT)」という機能で、アクセスのスケジューリングを効率よく組み合わせることで IT 機器のスリープ時間を増やし、帯域幅とバッテリーの消費を節約します。

※Wi-Fi 6 の恩恵を受けるにはルーター側とスマホなどの端末の双方が、Wi-Fi 6 に対応している必要があります。少し価格が高い（2万～6万円）ですが、次回の買い替え時には「Wi-Fi 6」対応にしましょう。

～ 2020年3月より電子入札システムの新方式(脱Java)への移行開始 ～

電子入札システム専用 JRE (JAVA) のサポート期限は 2020 年 9 月 30 日となっており、これ以降は米国オラクル社のサポートがない状態となります。そのため、「電子入札コアシステム」を開発・提供している（一財）日本建設情報総合センター（以下、「JACIC」という。）及び（一財）港湾空港総合技術センターでは、電子入札システム専用 JRE を使用しない電子入札コアシステム（以下、「新方式(脱Java)コアシステム」という。）を新たに開発しました。これを受け、電子入札を採用している全国の発注機関では、2019 年 12 月から 2020 年 9 月末までの間に新方式(脱Java)コアシステムへの移行が実施される予定です。

各役所の対応時期は役所のホームページにて確認してください。

下記「三菱電機インフォメーションネットワーク株式会社」のホームページより最新版のソフトウェアをダウンロードしてインストールしてください。（2020.2.1 現在：DIACERT 電子証明書設定ソフト (V1.0)）

<http://www.diacert.jp/plus/>

サービス

DIACERT-PLUSサービス（電子入札用電子証明書）についてご案内します。

DIACERT-PLUS サービスとは

サービス内容

利用可能なシステム

動作環境

利用開始までの流れ

よくあるご質問

サポート

DIACERT-PLUSサービス（電子入札用電子証明書）のサポートについてご案内します。

セットアップ手順

ソフトウェアダウンロード

訪問設定サービス

利用方法に関するよくあるご質問

お申し込み

料金

発行スケジュール

お問い合わせ

リポトリ
規程類・自己署名証明書

～ 編集後記 ～

菜の花の満開情報を聞き、福ふくの里（糸島市二丈福井6333）へ行ってきました。物産館には野菜や果物、新鮮な魚類が売られていました。観光客も多く、思い思いに満開の菜の花を写真に収めていました。筑肥線沿線と言う事で、タイミングを合わせて電車を入れて撮影できました。動く物体の撮影は難しいですね。もう少し撮影技術をアップしたいな。

記 奥村

